

ANJIN

vol.32

2023 Autumn

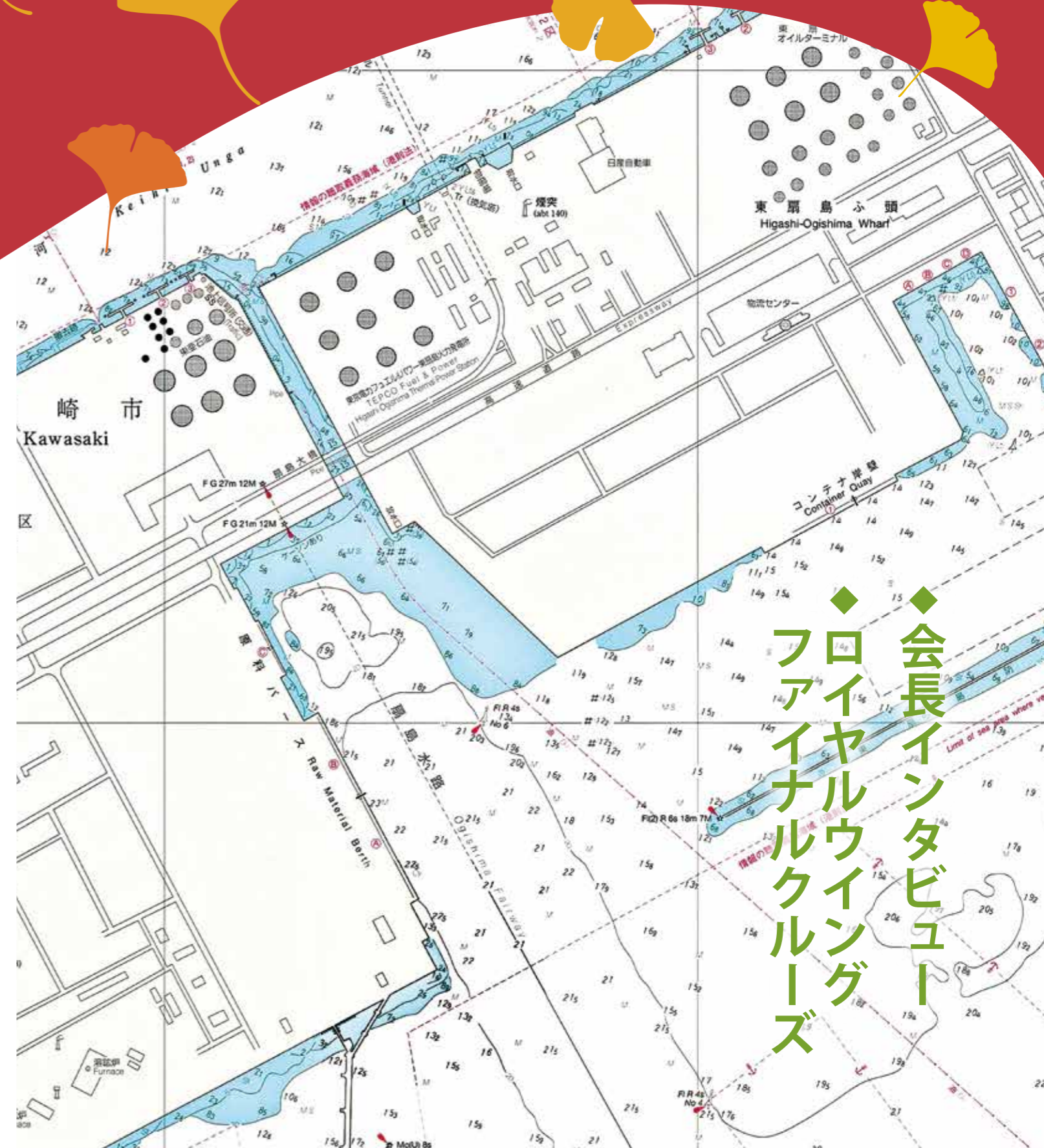
季刊



<http://www.tokyobay-pilot.jp/>

ANJIN 第32号 2023年10月1日発行
発行所/東京湾水先区水先人会
編集・発行/広報チーム
〒231-0023 横浜市中区山下町1番2
パイロットビル
TEL 045-650-3180

記載内容に係わる個人情報や会報内容について、当会に無断での転載・転用を禁止する。



◆ 会長インタビュー
◆ フロイナルウイングズ
◆ ナルクルーズ

目次 Contents

Vol.32 ~ 2023 Autumn ~

会長インタビュー	3-5
副会長就任のご挨拶	5-6
山下公園の新名所をご紹介します！	7
ロイヤルウイングファイナルクルーズ	8-9
私のキャリア	10-11
MY FAVORITE	12
Topics	13
ANJIN 編集委員の紹介	14
人事短信／期待の星	15

表紙／海図コピー(海上保安庁・海図 W67「川崎」から転載)

ANJIN【あん-じん・按針】とは？

磁石によって船の航路を決めること。また、その人。水先案内。按針手。

《補説》水先案内の意の「あんじ(行師)」の変化したものか。

(「デジタル大辞泉」から転載)



会長 インタビュー

INTERVIEW

昨年に引き続き、
2期目の会長就任となる
足立和也会長にお話を伺いました。

会長
足立 和也
(あだち かずや)

【インタビュー】
一級水先人
川部 勇
(かわべ ゆう)

ANJIN 1年間会長として様々な仕事をされてきたと思いますが、率直な感想を聞かせてください。

会長 まず一番驚いたのは、水先人会の業務には会長が承認しなければならない事項が本当にたくさんあるということです。驚いたと同時に、会長という職は責任重大な仕事であるということを確認しました。

ANJIN 印象に残っていることがあれば教えてください。

会長 昨年一番印象に残っているのはコロナの第8波です。職員の方も水先人の方も次々とコロナに感染して、この先感染者がどんどん増えていったらどうなるのだろうかど不安でした。幸いそこまでひどくならず水先業務に大きな影響はありませんでしたので、本当に良かったなと思っています。皆さんが一生懸命にしてくれたおかげで一年間乗り切れたと思っています。

ANJIN この一年の展望をお聞かせください。どんな一年にしていきたいですか。

会長 マニフェストに挙げている通り、皆さんの意見を聞いて会の運営をしていきたいと考えています。トップダウンではなく

て、みんなの意見を吸い上げてやっていきたいということです。残念ながら昨年は、コロナの影響で皆さんと面と向かって話をするチャンスをうまくつくるできませんでした。今年は多くの方に定例会などに参加していただき、ご意見を聞かせていただきたいと思います。20代から70代までの方がいる水先人会ですから、きっといろいろな意見があると思います。そういう意見をしっかり聞き取ってきちんと把握したいなというのがあります。まず、そういうものを受け取ってから、それをどういう風に規則に落とし込むとか、運営していくかということを考えなきゃいけないと考えています。今年はそういったところにトライしていきたいなと思っています。

ANJIN 新しくチャレンジしたいと考えている事があればお聞かせください。

会長 前からの課題ではあったのですが、手を付けられずにいたのが東京・千葉・木更津の事務所の問題です。東京・千葉事務所は築50年以上(木更津でも36年)経ってしまっていて、特に東京については耐震や下水浄化槽の問題があり早急に進めたいなと思っています。

会長 もう一つチャレンジしたいことがあり、それは組織そのものが変わっていかねければならないという話です。ちょっと前からは考えられないような様々な会員構成の組織になってきているので、その辺をどういう風に運営していこうかなというのが一番頭が痛いところです。具体的にどうするかについてなかなか答えが出てこないであろう中で、若い人の意見を聞きたいし、上の人の意見も聞きたいです。全く逆の意見が出てくるような気はしますがそれはそれとして、やっぱりそういう意見が表に出て、みんなで話し合うのが一番大切なことだと思うんです。

ANJIN これまで取り組んできた事の中で、2期目でも継続またはより良くしていきたい事があれば教えてください。

会長 去年業務制限の見直しを始めましたが、これで完全というものはないと思いますので引き続きフォローアップする必要がありますと考えています。規則はこうだからこうということではなく、しっかりといろいろなデータを集めて船舶の大型化などの変化に対応できる業務制限を作り上げていきたいと思っています。随分時間をかけてやりましたので一応は理解していた

だいたと思っておりませんが、実際やってみるとまたいろいろ問題が出てくると思うので、それについてはずっとフォローしていく必要があると思っています。

ANJIN これまでの質問と重複する部分があるかもしれませんが、ポリシーのようなものがあればお聞かせください。

会長 皆さんの意見を聞くということが私の一番のポリシーです。皆さんの意見をあまりに多く聞いているとまとまらなくなるのではということが多々あり得ると思うのですが、それはそれで聞いていかないといけないなとは私は思っています。「お前のやり方を見ているとまどろっこしい」というようにおっしゃる方もいるのですが、やっぱり皆さんの意見を聞いて、ある程度納得していただいて進めていくのがいいと思っています。難しいとは思いますが去年同様今年一年も、なるべくそういうふうにしていきたいなと思っています。

ANJIN 重要な案件ほど意見が分かれると思いますが、その点どうでしょうか。

会長 重要な問題ほど時間をかけなければいけないということだと思います。例えば、業務制限の話にしてもいろんな意見が出てきて、「これはやっぱりもう少し考えなきゃいけないな」とか、「説明が足りていないかもしれないのでもう一つ資料を作ってもう一回説明していきましょう」等と議論していました。そのようにして、納得していただける方を一人でも二人でも増やしていくことで、会員の総意として動いていくということになったらいなと思っています。

ANJIN ひと昔前に比べるとより様々な出身母体の水先人が所属するようになりましたが、そういった会員の多様性についてはどのように対応していけますか？

会長 水先人会として様々な対応をするときに、「昔からこうやってるんじゃないか」という意見で何も変える必要はないとおっしゃる方がいますが、私としてはそれはもう会としては変わっていかねばならないなと考えています。その雰囲気だけでもこの1年のうちにできたらいいなという気がしています。

ANJIN 比較的若い年齢の水先人についてはいかがでしょうか？

会長 特に3級の方で学卒で入ってこられた方たちに対しては、水先人会の仕組みであったりビジネスマナー等についてももう少し研修をきちんとしていってもいいのではないかと考えています。水先業務の技術的なことを学ぶことが最優先であると思いますが、水先人として船に乗っていくときにはそれだけではカバーできないであろう対応が求められるケースがあります。そのようなときにきちんとした対応ができる水先人になっていただきたいと思っています。新入会の際には水先の心得等は教えるようにはしていますが、それだけではなかなかわかりづらいところがあります。やはり人と人、最終的にはキャプテンと水先人との信頼関係で船を動かしていくわけですからね。

最後に

水先人の皆様に対しては、もっと会のごことに積極的に参加してほしいと思っています。そのためにはまず、各委員会の議事録などを読んでいただきたいです。繰り返しになりますが、選任された各委員だけではなく、会員の皆様全員が活発に意見を言えるような環境にしていきたいと思っています。

それから水先人以外の方、いつもお読みいただきありがとうございます。ANJINの記事を通じて東京湾水先人会の今を知っていただけたら幸いです。例えば代理店の方や船会社の方にはもっと我々のことを知っていただいて、今後より良い協力関係を構築していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

副会長就任挨拶



副会長
黒田 富治
(くろだ とみはる)

この度、副会長に6月から再任され、もう一年4階のデスクで務めさせていただきます黒田です。どうかよろしくお願いいたします。

ちょうど一年前に着任してからは、まずあいさつを励行するなどして会員の皆さんと触れ合うことに努め、より多くの皆さんからのご意見・ご相談等に耳を傾けることから始めました。その結果、窓口としてたくさんのご意見・ご提案等をいただくことができました。ご協力いただいたことについて、この場をお借りしてお礼申し上げます。

この一年を振り返ってみますと、横浜スタジアム近くの自宅マンションと本部の往復で終わる日がほとんどでした。そんな中での私にとっての重大ニュースは、長男夫婦に第一子として男の子が生まれ、二人目となる孫に恵まれた事でした。こどもの日に、二人の孫の成長と健康を祈願して端午の節句を祝うという至福のひとときを経験することができました。自分もこういう年になったと実感するとともに、これからも孫たちの成長がとても楽しみで、大変癒されており、ますます業務を頑張らねばと感じております。

会の職場環境や雰囲気がお陰様で少しずつ良くなっていると感じています。今年度も役員をはじめ委員の多くが入れ替わり新メンバーでスタートしています。承諾していただいた会員の方々には本当に感謝しております。

昨年同様、水先人及び職員の各位には当事者意識を持ってもらい、遠慮なくご意見・ご提案・ご相談等していただきたいと思っています。そして、一丸となって共に働きやすい環境づくりに誠心誠意取り組んでいきたいと考えております。



副会長
恩田 裕治
(おんだ ゆうじ)

私は東京湾水先人会の入会から9年目になり、東京都の出身ですが横浜に30年住んでいます。学生時代は山岳部に在籍し岩壁や雪山にも出かけました。近年は難易度を下げ温泉・時々山と山スキーなど年相応の活動を楽しみにしています。

さて早速ですが、水先人会と水先人の関係について感じていることを述べます。ご存知のように昭和24年現行の水先法の下に水先区が設定され、近年では平成19年の水先区統合により東京湾水先区が存在しています。私たちの先達は、施設の整備や、優秀な職員の手配、時代に則した制度やマニュアルの整備を行い、意欲的に水先人会のサービス形態を作り上げてきました。その弛まぬ努力や、制度改善への惜しみない労力には敬服しています。

このような組織活動を形成できたのは、卓越したリーダーの指示があり、これを支える各水先人が東京湾の専門知識および運航経験、規範となる社会的経験と責任感を豊富に持っていたからだと思えます。関係機関との太いパイプや、当局や業界に対するリーダーシップ、さらに誠実で信頼できるモラルを持ち、会の力を集結し成し遂げられたものと理解しています。

先達のこのような業績の後を歩む私たちはさらなる努力を怠りたくてはならないと身を引き締めております。良いレールを整備できるよう微力ながら力を尽くしたいと思います。温故知新の気持ちで会長を補佐し高品質なサービスを具現すべく活動をしていきたいと思えます。

この度、副会長に就任した赤松健康です。

新制度8期生で入会9年目の未熟者ゆえに、職責の重さに身の引き締まる思いで一杯です。

暫くは、当方のボケに対して「どうする〇康」とのツッコミを入れられることを覚悟しておりますが、皆様のご協力のもと、副会長3本の矢で会長を補佐し当会を盛り立てていきたいと思えます。

出身は愛媛県今治市(旧越智郡)瀬戸内、しまなみ海道のど真ん中に位置する大三島^{おおみしま}です。日本総鎮守の名を冠する大山祇神社があり、紅まどんなに代表される蜜柑が自慢の島です。

(名所等 ANJIN vol.27「私の旅行記」ご参照)

趣味は水彩画とウォーキングを兼ねた近隣のサウナ付き銭湯巡りで、現在市の浴場協同組合主催の横浜銭湯スタンプラリーに挑戦中です。

海陸一体となった安全・安心な水先サービスの提供は、タグボートや関係官庁等、各方面の方々の協力が不可欠であり、調整に当たっては当会の要望をきちんと伝えると同時に相手方の業務を理解・尊重し、誠意を持って取り組みたいと思えます。

そして、会の皆様が海陸の現場で各自の能力を存分に発揮し、笑顔で職務に邁進できるよう、努力したいと思いますので、気軽にお声掛けください。どうぞよろしくお願いいたします。



副会長
赤松 健康
(あかまつ たけやす)

山下公園の新名所を ご紹介いたします!

二級水先人
小林 剛丈
(こばやし たかひろ)



皆さん気になっていたかと思いますが！
横浜事務所の隣に突如現れたおしゃれな雰囲気のある施設。
足湯もできると噂のその施設を仲間と調査してまいりました。



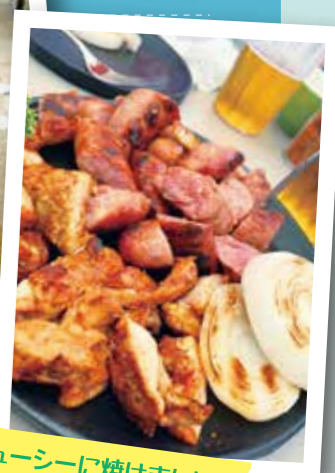
LA風のおしゃれな施設

2023年4月にオープンしたこの施設の名称は「THE WHARF HOUSE 山下公園」。ここは横浜港を見渡せる足湯や、アウトドア好きから支持されるウェーバー社製グリルを使用できるBBQ、朝から夜まで楽しめるカフェ・レストラン、横浜土産をそろえたショップなどを備えた複合施設です。

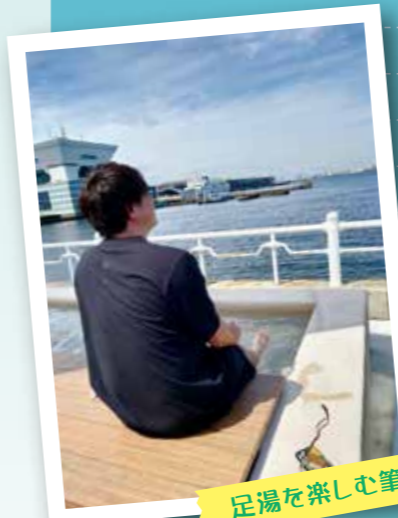
今回は1人6,000円で2時間アルコール飲み放題付きBBQプランを満喫してきました。食材等ひと通り準備されているので手ぶらで気軽に行くことができます。チキンやポーク、厚切りベーコン、ソーセージ等のお肉のほか、トウモロコシやアスパラ、タマネギ等の野菜はどれも質が良く、とても美味しくお腹いっぱいになったと皆さんに好評でした。アルコールも生ビール、ハイボール、カクテル等種類は多く、プラス1,000円で巷で人気の横浜クラフトビール7種類も追加することができます。



ウェーバー社製グリル



ジューシーに焼きました!



足湯を楽しむ筆者

足湯テラスは山下公園突端にあり、横浜港を一望しながら楽しむことができます。11～17時は無料(17時以降は1人300円)、利用時間は1グループ最大30分、足拭きタオルが200円でレンタル可能です。受付で手続きすると発券され、順番待ちのときは店内で食事しながら気兼ねなく待つことができます。当日は晴れて丁度良い気温であったため、心地よく入っていました。いつも水先業務中に見ている景色ですが、観光客気分味わえ、とてもリフレッシュできました。

作業合間の食事休憩や仕事終わりの一杯、またはプライベートでBBQと足湯等、気軽に利用できる施設です。横浜事務所のすぐ横にこんな憩いの場があるなんて、百聞は一見に如かず、訪れてみて良かったです。皆様も行ってみたいはいかがでしょうか。



満喫する編集長と鈴木水先人



ロイヤルウイング ファイナルクルーズに 乗船してきました

二級水先人
上沼 尚大
(かみめま なおひろ)

雨。大勢の見送り客が手を振る中、長音三声^{※1}が横浜港に響き渡る。いつもと変わらぬ横浜の風景。しかし、これが32年間大棧橋と共に歩んだ「ロイヤルウイング」最後のクルーズであった…

今回は2023年5月14日に行われた、ロイヤルウイングファイナルクルーズの様子を鳴鬼船長の後日談を交えてご紹介します。

ロイヤルウイングとは…

ロイヤルウイングは旧船名を関西汽船の「くれない丸」(3代目)と称し、1960(昭和35)年より阪神港～別府を約14時間(従前は17時間)で結ぶ瀬戸内航路の3,000トン級の観光船として就航、ピーク時には姉妹船「むらさき丸」を含め6隻体制で年間132万5千人の乗客数を誇った。1980年に阪神別府航路はフェリー化され、同船は惜しまれながらも翌81年に退役した。その後、佐世保重工業での係留期間を経て1988年にレストラン船として改修、翌89年から「ロイヤルウイング」として大棧橋で営業を開始、以来横浜の顔として港内クルーズを行ってきた。



▲ 整備されたエンジンルーム



▲ ブリッジには大きな操舵輪が!



放水で見送りをする消防船とマリーンルージュ



最後のクルーズを終えて一礼する乗組員



INTERVIEW

鳴鬼船長にお話を伺いました

なるき としふみ
鳴鬼敏文船長はロイヤルウイング船長歴18年。前職はタグ、フェリー、高速船など。なんとロイヤルウイングと同年、誕生日は11日違いで63歳だそうです。

ロイヤルウイング船長としての苦労話を教えてください。

水先人の皆さんもそうだと思いますが、やはり風が強いときは苦労しますね。東寄りの風が強いときは岸壁から離すのにいろいろな工夫が必要です。バウスラスタ^{※2}も推力3トンほどあまり強くないため、二枚の舵・二枚のプロペラを自在に使いながらなんとか離着岸操船をやってきました。お客様にクルーズを楽しんでいただきたい、しかし事故は絶対に起こせない…そんなプレッシャーを常に感じていた18年間でした。

読者の皆さんにメッセージをお願いします。

船の仕事というのは非常に魅力的で夢のある仕事だと思います。私自身、華やかなフェリーや客船という世界に憧れて航海士になりました。しかし、これが結構大変な仕事で、ロイヤルウイングのような船を動かすにはいろいろな苦労がありました。そういう苦労話を皆さんに知っていただきたいと思う一方で、こういった船員の仕事がこれからも続いていって欲しいと思っています。船の仕事をしていると、ヒヤリハットもたくさん経験すると思いますが、そういった経験を次に生かすという姿勢が一番大事なんじゃないかと思います。

ロイヤルウイングはこれで引退しますが、新しい船の話も出ています。しばらくの間は寂しくなりますが、新船が登場した際にはぜひ皆さんとクルーズを楽しみたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



※1…長音三声：客船などが出航する際に行うお別れの挨拶。汽笛の長音を3回鳴らす。

※2…バウスラスタ：船のバウ(船首)にある、船首尾に対する横方向の推進力を得るための動力装置。



私のキャリア My Career

vol.20

業務部
藤平 理津子
(ふじひら りつこ)

▼ 事務室にて仕事の様子



「人生で出会う人は決まっている」^{※1}



サクソスを演奏する筆者 ▲

1958年11月神奈川県三浦の松輪サバで有名な松輪に、未熟児で生まれ蘇生で命をつないだ双生児の1人です。中学まで姉妹一緒の通学で、高校だけは別になりたく県立三崎水産高等学校(現海洋科学高等学校)へ通いました。当時、京急線に三崎口駅はなく、バスを乗り継いで登校でした。専門教科の多い中、トン・トン・ツの無線実習は苦手でしたが、横須賀市長井の実習場にて手旗・カッター・実習船での手釣り授業等、楽しく学びました。部活動は吹奏楽部に所属し、1年生でトランペット、2年生からテナーサックスに移りました。実習船の出港式や野球大会の応援、文化祭へ向け大好きなグレンミラーのミラーサウンドを奏で、綺麗なハーモニーを追いかけていた充実の3年間でした。

横須賀水先人会との出会い

高校生最後の夏休み明け、始業式を終えた教室でクラス担任から「後で職員室へ来るように」と。「就職先、近い所がいいって言ってたよな。海関係の会社だ。来週、試験があるから行ってこい」と言われました。事前の会社訪問にも伺っておらず、どのような会社なのかも知識を得ぬまま、ただ「海関係の会社」との言葉にご縁を感じ、また、「先輩方も何人か勤めているし、確かな会社だから」と勧められ、何の迷いもなく受験したのが横須賀水先区水先人会でした。一週間程で内定通知をいただきました。冬休みにはアルバイトのお誘いをいただき、そこで初めて水先人という仕事と出会いました。所在は現在の横須賀事務所の所ですが、当時は何もない原っぱに2階建てのプレハブが建っていて、初めて案内された時は「え…この建物？」と驚いたことを懐かしく思い出します。1階に浦賀マリンサービス(株)があり、その横の狭い急な階段を上った2階が事務室でした。

配属は業務課、職員11名の職場でした。あの時代、新入社員が先ず覚えなくてはならないのが、職員それぞれの湯呑み茶碗。事務室フロアに水場はないため1階の給湯室まで降り、階段を踏み外さぬよう緊張しながらの朝のお茶出しで一日が始まりました。東京湾に強制水先制度が施行(政令323号)されたその年、前年10月と1月入会の計30名の水先人を加えた総勢73名の水先人写真簿を傍らに、必死に顔と名前を覚える毎日でした。当時は今と違いすべてがアナログ・手作業の時代、手書きの作業台帳をチェックした後に請求額を算出し、請求書原稿をバウチャーに記し、タイプ打ちをしていました。水先人や船舶代理店との通信手段は電話のみ、電話対応に追われながら一日中請求書作成に手動タイプライターと格闘した日もありました。また、和文タイプ教室に通わせていただきながら各種申請書類や発翰文書の作成にも携わり、一文字一文字打ち込み、誤植なく仕上がった時は安堵したものでした。



旧横須賀事務所の入口 ▶
旧横須賀事務所の外観 ▼



テーブルマナー教室やパソコン同好会

1980年に現在の建物が竣工しました。同時にコンピューター端末機が導入され、広々とした明るく充実した事務室、蛇口をひねるとお湯が出るパントリーにとでも感激したことも懐かしい思い出です。新社屋で各種会議も開催され、待機室で待機の水先人と接する機会が増え、直に言葉を交わすようになってからは顔と名前を覚えることもスムーズになりました。仕事帰りに食事にお誘いいただき、海外駐在時のエピソードを楽しくお聞かせいただいていた時、突然即席のテーブルマナー教室になったこともありました。その頃から家族懇親会が年1回秋に開かれるようになり、奥様ともお言葉を交わす機会ができてからは、業務の際の電話連絡がとても楽しい時間になったのを覚えています。1995年にはパソコン同好会(水先人の奥様も交え45名)が発足しました。手作りPCのお話など披露いただきながら楽しく学んだことも懐かしい一コマです。長いこと請求業務に係わった後は総務への配置換えがあり、各種申請書類の作成や栄典事務等にも携り、新役員就任時および新規入会水先人と同行しての諸官庁・関係先ご挨拶訪問のほか、年末にはPILOT BOOKを携えての代理店訪問、毎年、の国交省身体検査や海の日表彰のお手伝い等貴重な体験をさせていただき、幾多のお慶び事や様々な催しを通じ素晴らしい出会いを得たこと等、すべての経験が私の財産となりました。

横浜の水先人会本部への異動

2007年4月1日の統合から遅れること10年半、2017年10月の事務局組織再編に伴い、枯葉マークを胸に同年11月本部デビューいたしました。配属は業務部業務支援グループ。実務的な仕事からは数年間遠ざかっていましたので不安は山盛りでした。本部職員の皆様とも電話でのやり取りの声だけの繋がりに感じていたところ、ごくごく普通に受け入れ接していただき、入社時の朝の挨拶に爽やかなお声が返ってくるのがありがたく、それだけでしあわせな明るい気持ちで毎日過ごすことができました。2019年6月には業務部水先料管理グループ兼任となりました。昔々多少なりともかかわっていたことも幸いし、業務の際、覚えてくださった通船会社・代理店の方々から親しくお声掛けいただいたのはありがたく励みとなりました。

2023年の退職を前に

横須賀水先人会の採用から今日まで、それなりに挫折も経験して苦悩した時もありましたが、出会ったすべての皆様から多くを学ばせていただき、ご無礼をお許しいただき、ご厚意に甘えさせていただき、お言葉を交わすことで折にふれ励ましのお言葉を頂戴し、それを支えに今日まで一企業に勤め続けることができたことは感謝してもしきれない思いでいっぱいです。これからも出会いは続きます。様々な出会いに感謝しながら、出会った時の瞬間(初心)を忘れることなく、ご縁を大切に「よかった探し」^{※2}の毎日を楽しみたいと思います。

最後に、皆様の健康と益々のご活躍、そして会のさらなる発展をお祈り申し上げます。
長い間お世話になり本当にありがとうございました。

※1 …高校時代に恩師からいただいた心に残るワンワード：All the world's a stage, And all the men and women merely players. なぜなら『この世はすべてひとつの舞台、男も女も人はみな役者にすぎぬ。』《シェイクスピア喜劇「お気に召すまま」(As You Like It)- 第2幕 第7場より》

※2 …愛読書『少女パレアナ』『パレアナの青春』(著者：Eleanor Emily Hodgman Porter)より引用



MY FAVORITE

ペット編



二級水先人
鳥海 健
(とりうみ けん)

アリを飼っています

2019年春、1匹のアリが自宅にやってきました。このアリは侵入してきたわけではありません。自宅で飼うためにネットで購入したものです。子どもたちと一緒にアリの眺めているうちに、飼いたい欲望が湧いてきました。そこでひとり暮らしの自宅にアリを迎え入れることとしました。

現在飼っているアリはクロオオアリ、ムネアカオオアリ、クロヤマアリの3種類です。クロオオアリとムネアカオオアリはネットで購入し、クロヤマアリは野生の女王を採集しました。それぞれ簡単な特徴を記してみます。

クロオオアリ：私が一番最初に購入し、飼い始めたアリです。働きアリは体長7～12mm、女王アリは17～18mmと名前に恥じない大きさを誇ります。公園や歩道などでよく見られる、ありふれた種類です。

ムネアカオオアリ：2番目に購入して飼っているアリです。大きさはクロオオアリと同じですが、名前のおと、胸の部分が赤く美しいアリです。生息地は山の中であり、平地でも森林の中などで営巣することもあるようです。

クロヤマアリ：上記2種類のアリと比べるとやや小型で4.5～6mm、女王アリは10mmほどです。クロオオアリよりもやや灰色がかかった色をしています。この種も公園などで非常によく見かけるアリで、「公園にいるアリ」と聞いて真っ先に思い浮かぶ種類です。クロヤマアリは音や光に敏感で、部屋の明かりをつけたり人の話し声を聞いただけで巣をひっくり返したような騒ぎになります。

これらはすべて雑食性のアリであり、主に蜜餌として昆虫ゼリー、メープルシロップ、肉餌としてデュビア(ペットのための餌用ゴキブリ)を与えています。給餌後しばらくの間は、巣のあちこちで口移して餌をやり取りする様子が見られます。デュビアは生き餌として貴重なタンパク源となります。餌場に放り込むと、噛みつかれたり蟻酸を

▼ ムネアカオオアリ

かけられたりして、あっという間に弱らされてバラバラにされ、アリの胃袋へと収まります。デュビアには悪いですが、この光景を見るたびに自分がデュビアじゃなくて良かったと心の底から思います。タンパク質は幼虫を育てるための貴重な栄養です。アリは子育てをする昆虫で、女王が卵を産み落とした瞬間から、羽化して成虫になるまで育児係のアリが世話をします。体を綺麗にしてカビなどから守ったり、給餌したり、羽化の際に繭や蛹の殻を外したりします。このように昆虫であることが疑わしくなるぐらい、他の個体のために働いています。

このように、アリは見れば見るほど、不思議と魅力が詰まった昆虫です。皆様も興味湧きましたら、ぜひ飼ってみてください。

飼育ケースは細いパイプでつながっており移動可能▶



Topics 第40回 横浜港カッターレース

今年5月21日に第40回横浜港カッターレースが山下公園前の海上で開催されました。

このレースは帆船日本丸の横浜誘致を記念して1985年より開催されており初夏の港の風物詩となっております。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となった年もありましたが、昨年より再開されています。山下公園では海運関係会社の方、海事関係の学生をはじめとする多くの人で賑わい、多くの声援がカッターの漕ぎ手達に送られました。

今回の大会では横浜港カッターレース競技委員会の委員長及び委員として、菅原水先人、上沼水先人が参加。カッターの漕ぎ手として当会から吉川水先人と藤沢水先人が当会チームとは別のチームにて参加しました。



▲ たくさんのチームで熱戦が繰り広げられた



藤沢水先人 ▲



菅原水先人(右)と上沼水先人(左) ▲

青木水先人
からの
ひとこと



我が水先人会はチーム『ANJIN-Y』として何年レースに参加しております。しかし、今回のレースでは『ANJIN-Y』は選手の人数が揃わず、レース出場ができませんでした。来年は早期からのカッター練習を計画しておりますので、練習・大会ともに皆様の参加をお待ちしております。

Topics 人命救助で感謝状が贈られました



▲ 水先艇按針102

パイロットボートを運航する新協和海運(株)の艇員5名が人命救助を行い、その功績が称えられ水上警察から表彰されました。

按針102号の艇員は6月13日、パイロット本部棧橋近くの海岸から海中に転落する女性に気が付き、その場に居合わせた3名の艇員とともに迅速に救助に向かったとのこと。大雨の影響で一面赤茶色に濁った海面は見通しが悪かったとのことですが、命を救うため躊躇うことなく飛び込み救助したものとされます。水先人として、日頃の水先関連業務の感謝をするとともに、迅速に勇気ある行動を取ったその勇士と、日頃の業務によって鍛え上げられたその体力、技術を称賛したいと思います。

広報チーム メンバー 紹介



《後列左から》

松家 辰徳 … 二級水先人(入会 8 年目)
(まついえ たつり)
最近よくパスタを作っています。ANJIN 編集委員 2 年目となりました。
新しくなった ANJIN 編集委員でより良い会報作りに努めてまいります。

平井 景子 … 総務部(入会 2 年目)
(ひらい けいこ)
入会 2 年目となり、様々な仕事を経験し、日々新鮮な気持ちで業務にあたっております。
広報チームの一員としてお役に立てるよう頑張ります！

若畑 雄嗣 … 経理部 係長(入会 8 年目)
(わかばた ゆうじ)
昨年の紹介文で 9 割冷凍食品に依存とありましたが、7 割依存まで減りました。
広報チーム 2 年目、公私ともにさらなる成長を目指します。

《前列左から》

池田 匡孝 … 二級水先人(入会 6 年目)
(いけだ まさたか)
福岡県出身。カリカリ梅が好物です。
不慣れなことも多くあるかと思いますが、良い会報が届けられるように精一杯頑張ります。

編集長 川部 勇 … 一級水先人(入会 12 年目)
(かわべ ゆう)
37 歳になりました。趣味はテニスと音楽、そして最近は家族で畑を耕しています。
興味ある方はぜひ一緒にやりましょう！楽しい企画を掲載できるように頑張りたいと思います。

杉山 幸生 … 二級水先人(入会 4 年目)
(すぎやま ゆきお)
共働きで夕飯をつくらざるをえない日々が続く、最近ようやく慌てずにそれなりにつくれるようになりました。
子どもが口に入れない日もありますが…。広報についても皆様に満足していただけるよう頑張ります！

《丸枠内左から》

上沼 尚大 … 二級水先人(入会 9 年目)
(かみぬま なおひろ)
この仕事を始めてから曜日感覚というものが消滅しました。
サンデードライバーが高速道路の追い越し車線を延々と走る「サンドラブロック」で休日に気づく日々です。
良い記事が書けるよう頑張ります。

轟 宏道 … オペレーション部 係長(入会 9 年目)
(とどろき ひろみち)
子供の頃から応援している横浜 DeNA ベイスターズが好調！
ベイスターズの応援も広報チームも力の限り頑張ります。

小林 剛丈 … 二級水先人(入会 8 年目)
(こばやし たかひろ)
俗に言う幸せ तरीで 20 キロ増量し、0 歳の息子や犬にまで心配される日々。
今年こそ生まれ変わるように努力します。編集も蓄えたエネルギーで頑張ります。

人事 短 信

水先人・元水先人

【退会】



元一級水先人 島田 徹之 (しまだ てつゆき) 平成19年1月入会 令和5年6月30日退会	元一級水先人 戸摩 辰雄 (とま たつお) 平成19年1月入会 令和5年7月29日退会	元一級水先人 森田 良和 (もりた よしかず) 平成20年4月入会 令和5年8月27日退会	元一級水先人 島田 恒 (しまだ ひさし) 平成20年4月入会 令和5年8月31日退会
--	--	--	--

長い間、
安全運航
お疲れさま
でした。

【受賞】

令和 5 年「海の日」国土交通大臣及び関東運輸局長表彰について
7 月 17 日付で次の方々表彰されました。

【国土交通大臣表彰】 松本 恭昇、齊藤 剛、島田 恒、竹中 五雄、
石川 富朗、大平 徹是、熊井 秀樹 (7名)

【関東運輸局長表彰】 長谷川 弘一、坂部 正憲、村田 雅文、木場 弘幸 (4名)

【進級】

9 月 1 日より、一級水先人として就業を開始しました。

山下 孝司、室村 理子、山本 大、大谷 雅人、住沢 裕介、
野口 武聡、古江 剛志、本田 直葵、夏井 裕希 (9名)

9 月 1 日より、二級水先人として就業を開始しました。

藤沢 一樹、鈴木 一博、野宮 弘貴 (3名)



2023 年 9 月 1 日付で入会した三級水先人 2 名を紹介します。

- ①出身は何処ですか？
- ②水先人を志望したきっかけは？
- ③自分自身のアピールポイントは？
- ④休日の過ごし方や趣味を教えてください。
- ⑤今後の抱負を聞かせてください。



三級水先人
藤原和宏
(ふじわら かずひろ)

- ①愛媛県
- ②国内外の水先人を目にし、その仕事に魅了されたため
- ③年齢や職域問わず、しっかりとコミュニケーションをとれるよう心掛けています。
- ④ジム、旅行
- ⑤早く一人前に仕事ができるよう励み、安全運航に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



三級水先人
竹内星弥
(たけうち せいや)

- ①愛知県
- ②船橋内を良好な雰囲気にし、スマートに嚮導する水先人の姿を目にしたこと。
- ③人の話を素直に聞くところ。頂いた指摘やアドバイスをすぐに実行する行動力とスピード。
- ④猫と遊んでいます。趣味はゴルフとダーツ、フットサルです。
- ⑤できる限り早く水先人としての技術と心構えを身につけ、東京湾内の安全かつ効率的な運航に貢献できるよう精進してまいります。